

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	家庭基礎	単位数	2 単位
学 科	農業科（食農科学科）	学 年	1 年
教科書	Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう(大修館書籍)	副教材	なし

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを旨とする。
------	--

評価		
評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・ 単元テスト ・ 定期考査 ・ 課題提出 等
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・ ワークシート ・ 定期考査 ・ 課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・ 毎時間の取組状況 ・ 課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	第1章 生活のマネジメント	・ 人は一生にわたって発達し、青年期は発達途中である。これからの1つひとつの意思決定によって、人生がつくられることを理解する。 ・ 青年期の発達課題を理解し、自立に向けて高校生の今、何をすべきかを考える。 ・ 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。家族・家庭のよりよい生活のために、課題解決に向けて取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭生活の充実向上を考える。 ・ 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解する。また、生活支援に関する基礎的な技能の身に付ける。 ・ 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして、課題を解決する力を身に付ける。 ・ 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。
	第2章 青年期の課題と自立	
	第3章 家族・家庭生活のマネジメント	
	第5章 高齢期の生活のマネジメント	
	最終章 生活をデザインする	
	第6章 共生社会をつくる	
2 学期	第8章 経済生活のマネジメント	・ 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計生活について理解する。また、消費生活の権利や責任を自覚して行動できるように消費生活の現状と課題、消費生活における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理する。 ・ ライフステージや目的に応じた被服と機能、着装、被服材料、被服衛生について理解する。また、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理する。及び被服の計画・管理に必要な技能の身に付ける。 ・ 生活と環境の関わりや持続可能な消費とともに、持続可能な社会へ参画することへの意味を理解する。 ・ ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解する。また、適切な住居の計画・管理に必要な技能の身に付ける。
	第10章 衣生活のマネジメント	
	第7章 持続可能な社会をつくる	
	第11章 住生活のマネジメント	
3 学期	第9章 食生活のマネジメント	・ 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解する。また、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能の身に付けている。 ・ ライフステージに応じた栄養素の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解する。また、自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能の身に付ける。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	家庭基礎	単位数	2単位
学 科	農業科（環境工学科）	学 年	1 年
教科書	Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう(大修館書籍)	副教材	なし

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の通りに育成することを目指す。
------	--

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	・ 単元テスト ・ 定期考査 ・ 課題提出 等
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・ ワークシート ・ 定期考査 ・ 課題提出 等
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	・ 毎時間の取組状況 ・ 課題提出 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学 期	第1章 生活のマネジメント	・ 人は一生にわたって発達し、青年期は発達途中である。これからの1つひとつの意思決定によって、人生がつくられることを理解する。 ・ 青年期の発達課題を理解し、自立に向けて高校生の今、何をすべきかを考える。 ・ 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会との関わりについて理解する。家族・家庭のよりよい生活のために、課題解決に向けて取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭生活の充実向上を考える。 ・ 高齢期の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解する。また、生活支援に関する基礎的な技能の身に付ける。 ・ 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして、課題を解決する力を身に付ける。 ・ 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。
	第2章 青年期の課題と自立	
	第3章 家族・家庭生活のマネジメント	
	第5章 高齢期の生活のマネジメント	
	最終章 生活をデザインする	
	第6章 共生社会をつくる	
2 学 期	第8章 経済生活のマネジメント	・ 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計生活について理解する。また、消費生活の権利や責任を自覚して行動できるように消費生活の現状と課題、消費生活における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解し、生活情報を適切に収集・整理する。 ・ ライフステージや目的に応じた被服と機能、着装、被服材料、被服衛生について理解する。また、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理する。及び被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 ・ 生活と環境の関わりや持続可能な消費とともに、持続可能な社会へ参画することへの意味を理解する。 ・ ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解する。また、適切な住居の計画・管理に必要な技能の身に付ける。
	第10章 衣生活のマネジメント	
	第7章 持続可能や社会をつくる	
	第11章 住生活のマネジメント	
3 学 期	第9章 食生活のマネジメント	・ 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解する。また、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 ・ ライフステージに応じた栄養素の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活、おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解する。また、自己や家族の食生活の計画・管理、目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。

その他	ホームプロジェクト 学校家庭クラブ活動
-----	---------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	家庭総合	単位数	2単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	1年
教科書	Creative Living『家庭総合』で生活をつくろう	副教材	家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。
------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、住生活、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な知識と技能を身に付けている。	・定期考査 ・小テスト 等
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、住生活、消費生活・環境などについて、問題点を見出して課題を設定し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けている。	・提出物 ・授業・実習への参加 態度 等
主体的に学習に取り組む態度	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、住生活、消費生活・環境などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	・授業・実習への参加 態度 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	第1章 生活のマネジメント 第2章 青年期の課題と自立 第3章 家族・家庭生活のマネジメント 第5章 高齢期の生活のマネジメント	・生涯発達の考え方に立ち、各ライフステージごとの特徴と課題について考える。 ・青年期の自立について理解し、自立の達成のためにできることについて考える。 ・「家族」の定義を理解し、家族の機能や、家族・家庭に関する法律について考える。 ・高齢者の心身の特徴を知り、高齢者福祉の考え方を理解し、家族や地域が果たす役割について考える。
2 学期	第10章 衣生活のマネジメント 第4章 子どもの生活と子育てのマネジメント 第6章 共生社会をつくる	・自分の衣生活を取りまく状況について関心を持ち、衣生活の改善・向上について考える。 ・子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身に付け、生命の尊さ、子育ての意義について考える。 ・人生におけるリスク管理の必要性を理解し、セーフティネットワークについて考える。
3 学期	第7章 持続可能な社会をつくる 第8章 経済生活のマネジメント 第11章 住生活のマネジメント	・持続可能な社会を実現するために必要な法律や制度について考える。 ・経済的自立について理解し、多様化・複雑化する消費生活の課題について考える。 ・現代の住まいや住生活の現状を知り、改善のための課題について考える。

その他	ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動。（4単位中2単位）
-----	-------------------------------

家庭

愛媛県立西条農業高等学校

科目名	家庭総合	単位数	2単位
学 科	農業科（生活デザイン科）	学 年	1年
教科書	Creative Living『家庭総合』で生活をつくろう(大修館)	副教材	調理実習ノート基礎編（愛媛県高等学校家庭科教育研究会） カラーグラフ食品成分表2022（実教出版）

学習目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付ける。
------	---

評価		
評価の観点	評 価 規 準	評価方法
知識・技能	食生活について、生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識と技能を身に付けている。	・小テスト ・定期考査
思考・判断・表現	食生活について課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身に付けている。	・提出物 ・授業・実習への参加態度
主体的に学習に取り組む態度	食生活に関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	・授業・実習への参加態度 等

	学 習 項 目	学習内容・学習のねらい
1 学期	第9章 食生活のマネジメント 1 体と心を満たす食事 2 イエローカードかも？ 3 日本の食文化”WASHOKU” 4 栄養バランスの良い食事 食物調理技術検定4級の実施	・食事のもつ意味を知り、現代の食生活の現状と問題点を理解し、健康的な食生活を送るための方法を考える。 ・食物調理に関する基礎的・基本的な技術や知識を身に付ける。
2 学期	5 炭水化物を摂る 6 脂質を摂る 7 たんぱく質を摂る 8 無機質を摂る 9 ビタミンを摂る 10 豊かな食卓に 食物調理技術検定3級の実施	・5大栄養素の働きについて理解し、その摂り方について考える。 ・食物調理に関する基礎的・基本的な技術や知識を身に付ける。
3 学期	11 食品のプロフィールを知る 12 食品を安全に取り扱う 13 持続可能な食生活	・日本や世界の食環境問題について広く考え、自分自身の問題としてとらえる姿勢を身に付ける。

その他	ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動。（4単位中2単位）
-----	-------------------------------